

1. 八百津町人口ビジョンについて

(1) 人口ビジョン策定の目的

「八百津町人口ビジョン」は、国の「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン」の趣旨を尊重し、八百津町の人口の現状を分析するとともに、人口に関する地域住民の認識を共有し、今後目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示すものです。同時に、「八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の前提となるビジョンです。

(2) 対象期間と推計ベース

人口ビジョンは、国勢調査による人口をベースとし、必要に応じて住民基本台帳による人口やその他資料を用いて分析、推計を行います。また、短期目標を 2025 年、中期目標を 2040 年、長期目標を 2060 年とします。

(3) 将来人口の推計について

将来人口の推計については、国立社会保障・人口問題研究所（以下、社人研という）による『日本の地域別将来推計人口（平成 30 年推計）』による推計値を参考としながら、独自の推計を行い、人口の将来展望を示します。

(4) 八百津町人口ビジョンにおける将来目標人口の見直し

最新の内閣府地方創生推進室「将来人口推計のためのワークシート」に基づく社人研推計準拠値における本町の将来人口予測の下方修正に鑑み、これまでの人口ビジョンが目指す将来の方向性や基本姿勢は維持しつつも、将来目標人口について修正することとし、あわせて、その実現に向けた「第 2 期 八百津町まち・ひと・しごと創生総合戦略」の策定を行うこととしました。

【技術的な注釈と用語の説明】

※端数処理とは、人口ビジョンにおける人口の将来推計値、その他比率等の端数については、数表の内数の見かけ上の和と合計数が一致しない場合があります。

※合計特殊出生率（TFR:TotalFertilityRate）とは、ある期間（年間など）に生まれた子どもの数について母の年齢別に出生率を求め合計したものです。仮想的に 1 人の女性が一生に生む子どもの数を計算したものといえます。

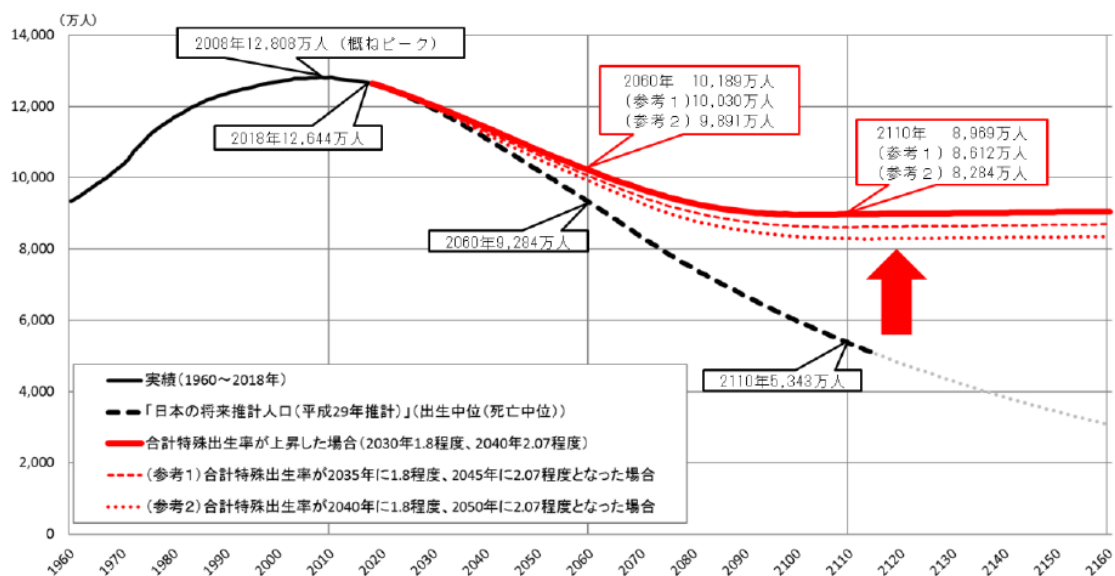
※子ども女性比（CWR:Child-WomanRatio）とは、ある時点で 0 歳から 4 歳までの人口と出産年齢（15 歳から 49 歳）の女性人口の比率です。ここで、対象集団が充分大きい（ex.3 万人以上の自治体）、対象集団と標準人口の乳児生残率の乖離が充分小さいなどの前提があれば、合計特殊出生率との間に一定の換算比率を設定することができるとされています。なお、社人研による推計では、小規模市町村での合計特殊出生率による将来推計に誤差が予想されることから、将来における子ども女性比を想定することによって出生児数の推計を行っています。この人口ビジョンの骨格をなす推計もこれに従っており、合計特殊出生率と子ども女性比の換算比率を利用してシミュレーションを行っています。

2. 全国と岐阜県の総人口

(1) 国の人口推計と長期的な見通し

■国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」（出生中位（死亡中位））では、このまま人口が推移すると、2060 年の総人口は 9,284 万人まで落ち込むと推計されている。さらに、総人口は 2100 年に 6,000 万を切った後も、減少が続いていくことになると見通されている。

■仮に、合計特殊出生率が 2040 年に出生率が人口置換水準と同程度の値である 2.07 まで回復するならば、2060 年の総人口約 1 億人程度を確保し、その後 2100 年前後には人口が定常状態になることが見込まれている。



(注1) 実績は、総務省「国勢調査」等による（各年 10 月 1 日現在の人口）。

社人研「日本の将来推計人口（平成 29 年推計）」は出生中位（死亡中位）の仮定による。

2115～2160 年の点線は 2110 年までの仮定等をもとに、まち・ひと・しごと創生本部事務局において、機械的に延長したものである。

(注2) 「合計特殊出生率が上昇した場合」は、経済財政諮問会議専門調査会「選択する未来」委員会における人口の将来推計を参考にしながら、合計特殊出生率が 2030 年に 1.8 程度、2040 年に 2.07 程度となった場合について、まち・ひと・しごと創生本部事務局において推計を行ったものである。

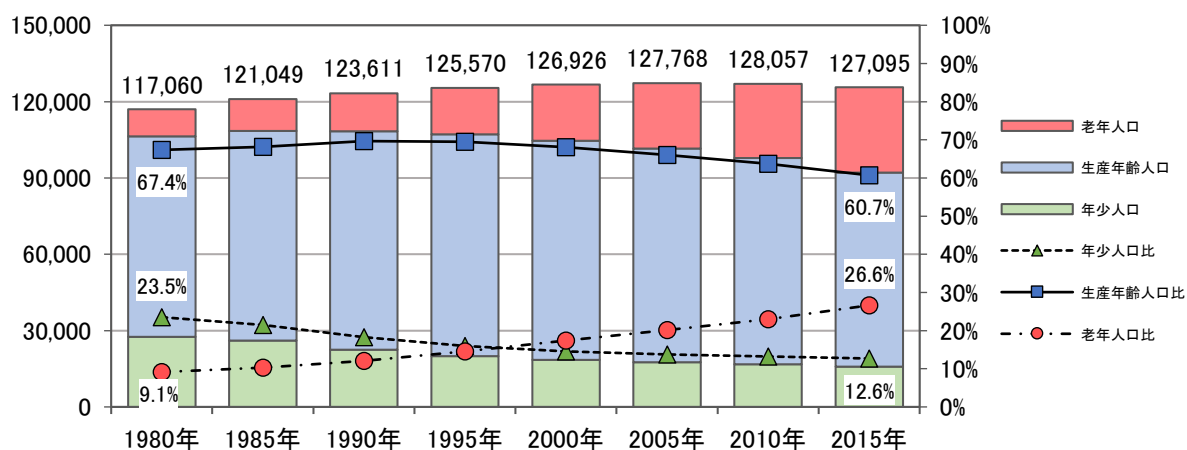
(注3) 社人研「人口統計資料集 2019」によると、人口置換水準は、2001 年から 2016 年は 2.07 で推移し、2017 年は 2.06 となっている。

(出典：「まち・ひと・しごと創生長期ビジョン（令和元年改訂版）」)

(2) 国と県の年齢3階層別人口の推移

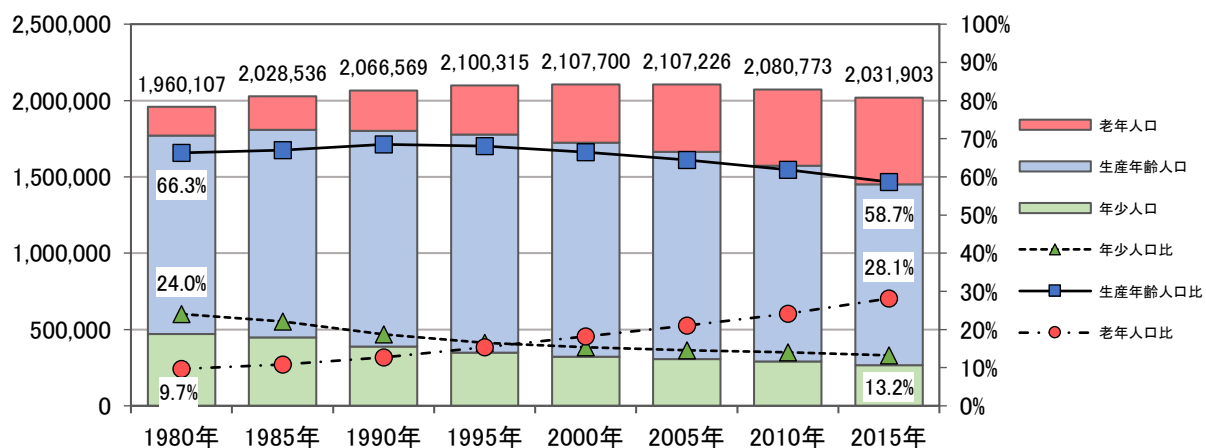
この35年間の全国と岐阜県の総人口の推移を国勢調査結果からみると、全国では2010年、岐阜県では2000年に総人口のピークを迎え、年少人口の急速な減少と高齢人口の増加を示しています。2015年の年少人口比は全国で12.6%、岐阜県で13.2%、生産年齢人口比は全国で60.7%、岐阜県で58.7%、老年人口比は全国で26.6%、岐阜県で28.1%となっています。これらの人口と比率は、八百津町の総人口と人口動向を分析する上での基準となります。

●全国の総人口と3階層別人口の推移（千人）



(出典：国勢調査)

●岐阜県 総人口と3階層別人口の推移（人）



(出典：国勢調査)